

施設概要



正面（エントランス）

主な施設

展示室1～3 旧石器時代から江戸時代までの県内各地の出土品を展示しています。

体験学習室 本物の土器や石器に触れることができます。

談話コーナー 県内の歴史関連図書を閲覧できます。

※廊下からは整理作業・保存処置作業が見学できます。

●静岡県埋蔵文化財センター

〒421-3203 静岡市清水区蒲原 5300-5
(旧庵原高校)

電話 <054>385-5500 (代表)

FAX <054>385-5506

E-mail

総務課 : maibun_somu@pref.shizuoka.lg.jp

調査課 : maibun_tyosa@pref.shizuoka.lg.jp

ウェブサイト: <https://www.smaibun.jp>

【開館日】平日(12/29～1/3を除く)

毎月第3土曜日

【開館時間】9時30分～16時30分 見学無料

※イベントなどはウェブサイトにて案内しています。



センターウェブサイト



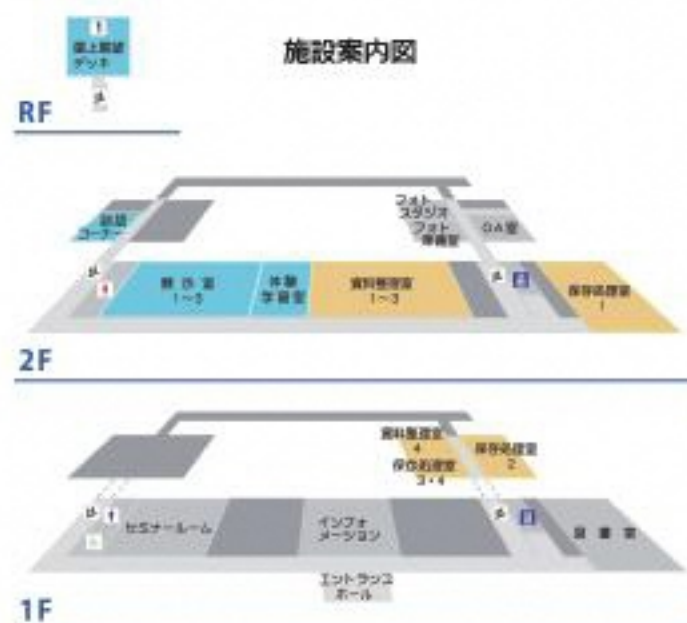
展示室1



体験学習室



談話コーナー



静岡県埋蔵文化財センター

Shizuoka Prefectural Archaeological Center

要覧

—令和7年度—



石材を切り出した痕跡（下田市敷根石丁場遺跡）

伊豆急下田駅の西側山地には、海底火山噴出物に由来する凝灰岩を切り出した石丁場跡が多くあります。河津下田道路建設に先立ち行った令和6年度の発掘調査では、岩盤を垂直に深く掘り下げたもの、坑道状に掘り進めたもの、山の斜面を段々に掘り下げたものなどが見受けられ、操業時期や切り出した石材等により採取方法が異なる様子が伺えました。職人が日々の作業に使用する工具の手入れに使用した鍛冶道具と考えられる石製品も出土しており、操業時の石丁場の姿を想起させます。

〔「丁場」は、作業現場という意味、「石丁場」は、石を割ったり、加工したりした場所のことです〕

事務事業の概要

令和7年度静岡県埋蔵文化財センター事業体系

1 基本方針

静岡県には、9,000箇所を超える埋蔵文化財包蔵地（遺跡）が確認されています。

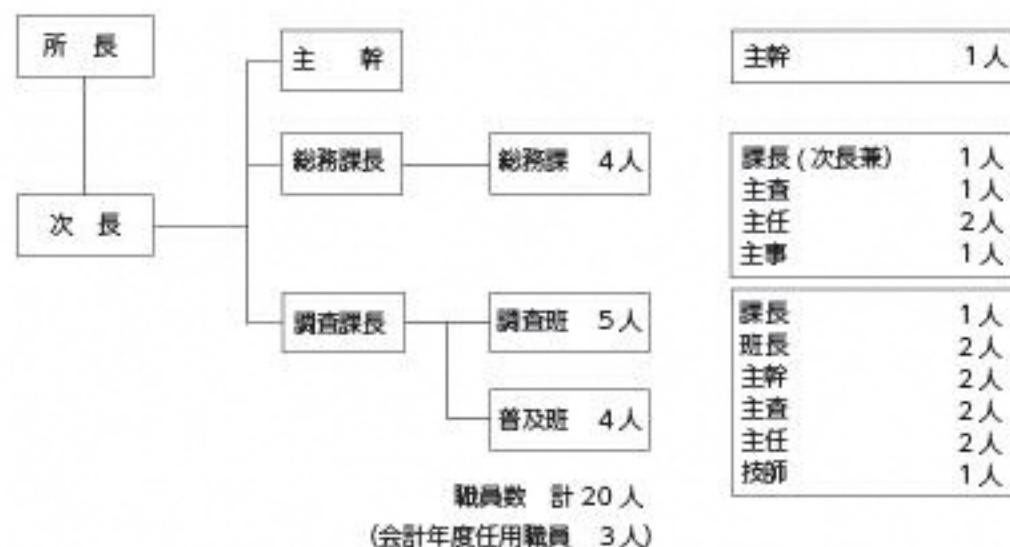
埋蔵文化財は、地域の歴史と文化を物語る県民の共有財産であり、地域の歴史や文化に対する憧れや知的好奇心を刺激する学習資源でもあります。

当センターは、県民の歴史的・文化的資産である埋蔵文化財を適切にまもり、地域固有の文化に誇りと愛着を持つ県民意識をそだて、文化財の価値を未来につなげていくことを目的として、埋蔵文化財の保存と活用に努めていきます。

2 事業の体系



組織図



主な事業内容

発掘調査と文化財の保存

現地の発掘作業から出土品や調査記録の整理作業までを行い、その成果を調査報告書にまとめます。

また、出土した金属製品や木製品を科学的に保存処理します。



発掘作業(富士宮市東田遺跡)



整理作業(土器の接合作業)



発掘調査報告書



保存処理(金属製品の修復作業)



現地説明会(裾野市上原遺跡)

文化芸術の振興

伝統や歴史に培われた文化財の保存・活用に取り組み、感性豊かな社会の実現を図ります。



常設展示や出張展、発掘調査の現地説明会などを通じて遺跡から発見された文化財を見ることができ、静岡の歴史と文化を学ぶ機会を提供します。



センター展示室



体験授業・出前授業、考古学技術体験等を通じて、楽しみながら静岡の歴史と文化を学ぶことができます。また、埋文セミナー、遺跡調査報告会等で静岡の歴史を考古学・文化財の専門家がわかりやすく説明します。



考古学技術体験(木製品の保存処理作業)



埋文セミナー

フェスタ埋文等での火おこし・弓矢などの体験メニューを通して古代の暮らしや技術の高さなどを感じる機会を提供します。



体験授業(火おこし体験)



フェスタ埋文(弓矢体験)